

かけはし



私たちは栃木県学生献血推進連盟「かけはし」です。献血の推進を目的に活動しているボランティアで、栃木県内の大学で結成しています、帝京大学（レッド・クロス）、宇都宮大学（レッド・レンジャー）、栃木県立衛生福祉大学校（へもぐろびんズ）、白鷗大学（レッド・ホープ）の献血サークルを中心に活動しています。さらに、関東職業能力開発大学校、さくら総合専門学校からの個人参加もあります。

また、県立高等学校の JRC 部が参加しての活動もあり、互いに充実し、取り組みの幅が広がっています。

かけはしの会員の募集は随時行っています。各大学の学内献血時や栃木県赤十字血液センターにて募集していますので、少しでも興味のある方、御連絡お待ちしております。

ツイッター @tochigi_gakusui

血液センター献血推進課 TEL 028-659-0114

会長のことば



「かけはし」会長 佐藤 隆介（白鷗大学 3年）

私たち「栃木県学生献血推進連盟」は、1人でも多くの方に献血へご協力いただけるよう県内の大学、専門学校等の学生が主体となって活動している団体です。

血液は人工的に作り出すことも長期保存することもできないため、みなさんの献血へのご協力が必要になります。私は高校3年生のときに白血病を患い、治療の一環で輸血をしました。「輸血を受けたから今の自分がある」、「献血をすることで助かる命がある」ということを忘れずに活動をしています。

私たちは献血の大切さを伝えるために、学生自らがイベントの主催・企画・運営をし、季節ごとに工夫を凝らした活動をおこなっています。

「かけはし」では学校、学年、性別問わず交流ができ、学生であれば誰でも参加することができます。この広報誌を読んでいるみなさんも献血者と血液を必要としている多くの方々の「かけはし」として活動してみませんか？私たちと一緒に献血を盛り上げていきましょう！

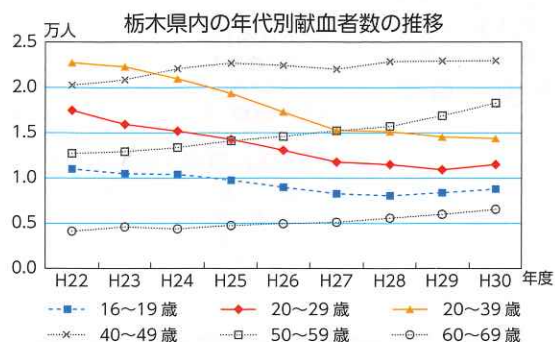
みなさんのご参加をお待ちしています。

献血にご協力ください

いま、献血のいちばん大きな問題は何だと思いますか？その答えは、献血に協力してくれる若い人たちが減っていることです。

近年の献血者の推移を見てみると、20代から30代の献血者が減少していることが分かります。このままでは、血液を必要としている患者さんに血液が届かなくなってしまうおそれがあります。

若い世代の皆さんの献血へのご理解とご協力をお願いします。



栃木県学生献血推進連盟「かけはし」



●「かけはし」とは？

平成8年10月に国際医療福祉大学にABO（アボ）の名称の献血推進サークルが出来、平成10年6月7日に栃木県内の大学が一致団結、栃木県学生献血推進連盟「かけはし」が発足しました。

血液を提供してくださる方と、血液を必要とされる方との間に立ち、架け橋になりたいという思いを込めた名前です。

●活動目的

献血への理解を深め、積極的に献血の推進をするともに、各大学との情報交換及び親睦を深めることを目的として活動しています。

●構成団体

宇都宮大学（レッド・レンジャー）、帝京大学（レッド・クロス）、栃木県衛生福祉大学（へもぐるびんズ）、白鷗大学（レッド・ホープ）の献血推進サークルを中心に活動しています。また、関東職業能力開発大学校、さくら総合専門学校などから個人参加の会員もいます。

●活動内容

- ・ 定例会（月1回）
- ・ 日々の街頭献血会場での広報活動や献血者・同伴者への遭遇（おもてなし）
- ・ 献血イベントの主催・企画運営
サマー献血キャンペーン（7月） ハロウィン献血キャンペーン（10月）
赤十字まつり（11月） 全国学生クリスマス献血キャンペーン（12月）
バレンタイン献血キャンペーン（2月） 血液センターまつり（2月） など

その他

- ・ 新入部員オリエンテーション（5月）
- ・ 全国、関東甲信越ブロック学生献血推進連盟の会議（県外）に年5回参加
- ・ 関東甲信越ブロック学生献血推進のリーダー研修会参加
- ・ 他県の学生献血推進連盟主催イベントへの参加
- ・ 学校献血時の広報活動
- ・ 夏期研修会の企画・参加（8月）
- ・ 献血セミナーの実施（各大学・高等学校など）
- ・ 県政番組等（とちぎテレビ・CRTとちぎ放送・エフエム栃木（Radio Berry））への出演
など、1年を通じて楽しく活動しています!!

献血推進サークル名 レッド・レンジャー



学年
宇都宮大学 2年
氏名
福田 涼夏

“かけはし”に参加したきっかけ

友人が誘ってくれたことです。ボランティアに元々興味があったため、参加することを決めました。

“かけはし”の活動で印象に残っていることや心がけていること

季節ごとに様々なキャンペーンを行っているのですが、この際の企画立案です。献血をしてくださるみなさんだけでなく、一緒に来てくださるお子さんも楽しんでもらえるようなものを心がけています。
多くの人が献血に興味をもつきっかけになったらうれしいです。

同世代の人に献血を勧めるコメント

献血はとても身近なボランティアです。ですが献血をするのに、「人を助けたいから」「ボランティア活動に携わりたいから」といった理由が必要なのではありません。「記念品がもらえるから」「なんとなく時間が余ったから」そんな風に気軽に献血していただければと思います。



献血推進サークル名 へろびんズ



学年
栃木県立衛生福祉大学校 2年
氏名
加藤 玲実

“かけはし”に参加したきっかけ

以前から献血に興味があり、現在、医療関係の学校に通っているため、かけはしの活動で得た献血についての知識や経験を、今後に生かせればと思ったからです。

“かけはし”の活動で印象に残っていることや心がけていること

印象に残っていることは、街頭で献血の呼びかけをしていた時に、実際に輸血をされた方から「このような活動をしてくれて、ありがとう。」と言ってくれたことです。とても心温まる言葉をかけてくださり、かけはしに参加して良かったなと思いました。

心がけていることは、多くの方に献血への興味を持っていただけるような言葉遣いで呼びかけをすることです。また、キッズ献血は、幅広い世代の方に献血の流れを知っていただく良い機会だと思うので、特に力を入れて広報などを行っています。

同世代の人に献血を勧めるコメント

「献血をやってみようとは思っているけれど、なかなか勇気が出ない。」という方もいるのではないのでしょうか。皆さんの力で救える命があります。ぜひ、友達や家族と一緒に献血へのご協力よろしくお願いします。



献血推進サークル名 レッド・ホープ



学年
白鷗大学 1年
氏名
石田 真菜

“かけはし”に参加したきっかけ

大学に入學してすぐの頃に学内献血が行われていて、そこでかけはしの存在を知りました。

その日、私は献血をしようと思ったのですが献血することができなかったため、かわりに私に何かできることはないかと思い参加しました。

“かけはし”の活動で印象に残っていることや心がけていること

印象に残っていることは各キャンペーンの活動です。大人の方々だけではなく子どもたちも笑顔になってくれたことがとても印象に残っています。心がけていることは、献血を呼びかけるときに献血は怖いものではないということが伝わるように笑顔で呼びかけようとしています。

同世代の人に献血を勧めるコメント

献血と聞くと、献血する前は怖いものだと思っていました。しかし、実際の献血は職員さんがとても優しく対応してくださって私の想像と違っていました。みなさんの勇気が多くの方々を救うことになるので、ぜひご協力よろしくお願いします。



献血推進サークル名 レッド・ホープ



学年
白鷗大学 3年
氏名
松山 祐大

“かけはし”に参加したきっかけ

私は高校3年生の頃に初めて献血をしました。それから高校や大学に献血バスが来ているのを見て積極的に献血をするようになりました。

ある時現会長の佐藤さんからかけはしに誘われ、自分でも何か力になれると思いかけはしに参加しました。

“かけはし”の活動で印象に残っていることや心がけていること

初めての献血キャンペーンで私が声をかけた方が献血に協力してくださったことがとても印象に残っています。自分が少しでも何かの役に立っていると実感できるととても良いボランティアだと思います。心がけていることは献血について質問をしてくださる方に対してできるだけ丁寧に笑顔で答えるようにしています。

同世代の人に献血を勧めるコメント

今でも血液を必要としている方が多くいます。血液は人工的には作れず健康な方の血液が必要です。もしもあなたがケガをしてしまった時献血をしてくださる方のおかげで助かるかもしれません。あなたの協力で助かる命があります。どうか気軽に血液センター等に足を運んでいただき、ご協力をお願いいたします。





サマー献血キャンペーン



キッズ献血



活動の様子

ハロウィン献血キャンペーン



メディア告知 (クリスマス献血キャンペーン)



定例会の様子



献血推進サークル名 レッド・クロス



学年
帝京大学 1年
氏名
大川 藍

“かけはし”に参加したきっかけ

祖父が輸血していたので、小さい頃から献血活動に興味がありました。また、姉が積極的に献血をしていたので、私も高校生になってから姉について献血を何回も行きました。大学に進学して献血推進活動を行うサークルがあると知り、私も祖父のように輸血を待っている方のために、少しでも役に立ちたいと思い、参加を決めました。

“かけはし”の活動で 印象に残っていることや心がけていること

かけはしの活動ではキッズ献血が印象に残っています。献血をよく知らない子供たちに献血の流れを伝えていくものなのですが、子供たちが理解できるような言葉遣いであったり、笑顔で接したりすることを大切にしました。体験後に子供たちに書いてもらったアンケートに、「高校生になったら献血をしたい」「とても楽しかった」というコメントがあり、達成感ややりがいを感じました。また、かけはしでは皆さまに献血のご協力をお願いするために、ショッピングモール内などで声かけを行っています。かけはしの団体に入った直後は、先輩方の後に続いて声を出すことで精一杯でしたが、今はどうしたら相手に言葉が伝わるのか考えながら声かけするよう心がけています。

同世代の人に献血を勧めるコメント

一人で献血ルームへ行くことに抵抗がある方はぜひ、友達と来てください。また、まずは献血をする友達の付き添いで献血へ行き、どのような流れで献血するかを見てから献血をするか決めていただいても、大丈夫です。皆さんの小さな勇気で一人でも多くの方の命が救えます。ご協力をお願いします。



献血推進サークル名 レッド・クロス



学年
帝京大学 2年
氏名
福田 稜将

“かけはし”に参加したきっかけ

大学一年生の際に、入院をした場で輸血されていた方を拝見し、「私はこの先献血をすることは出来ないが、何か出来ることは無いのか」と考えたため、レッドクロスに入り、そこから献血推進を行うかけはしに参加をしました。

“かけはし”の活動で 印象に残っていることや心がけていること

活動に参加する際に印象に残っていることは、各キャンペーンでの活動にて発言をすることです。かけはしの活動に参加する頃は、発言すること自体恥ずかしかったのですが、今は色々学び発言が出来るようになりました。

そして、心がけていることですが、献血をすることがしなくても出来ない方に、声かけをしてしまった際に、「ぜひ周りの身近な方にもこの活動をしていただくと、お伝えしてください」と相手に共感し、相手を巻き込んで、伝えることを心がけています。

同世代の人に献血を勧めるコメント

献血をしていただく際に、針が怖くて出来ないという理由は、よく言われるのでわかります。ですが、大人になった時に健康診断にて献血とは全く別物ですが使う針もあることにはあります。そのため、献血という身近に出来るボランティアにてその恐怖を打ち破ってみませんか？

私は、その使い方もありかなと考えました！



献血推進サークル名 レッド・レンジャー



学年
宇都宮大学 2年
氏名
増 潤のり佳

“かけはし”に参加したきっかけ

私は幼少の頃から献血をしたいと思っていました。しかし、発覚した持病のためできなくなりました。健康体でなければ役に立てないのだと思い諦めていたのですが、大学入学の際に、「かけはし」の存在を知ったのです。自分自身が献血できなくても、呼びかける、知ってもらう努力をすることが誰かの力になるなら参加してみたいと思いました。

“かけはし”の活動で 印象に残っていることや心がけていること

献血するかどうか迷っている人が「やってみます！」と勇気を出してくれる瞬間はいつも嬉しくなります。「少し怖い」、「気になるけど今はいいかな」と思っている方に一歩踏み出したいと思ってもらえるように心がけています。そのために、月に1度の定例会で企画、準備に力を入れています。どうすれば多くの人に正しく献血のことを広められるかは、重要な課題だと思います。

同世代の人に献血を勧めるコメント

献血が出来る身体であることが羨ましいと思うときがあります。自分や大切な人に何かあった場合、献血者の多い世の中なら助かる確率が上がるかもしれません。

私のように献血ができない人でも、できることはあります。身近な人に献血を勧めて献血推進活動に手を貸してください。



献血推進サークル名 赤十字サークル



学年
関東職業能力
開発大学校 3年
氏名
田口 優作

“かけはし”に参加したきっかけ

私は、10年程前から病を患っており、現在も薬を飲み続けています。その薬の影響により、献血することはできません。ならば、献血できない分、多くの方に献血へ協力していただきたいと思い、参加しました。

“かけはし”の活動で 印象に残っていることや心がけていること

季節・行事にあわせて実施するキャンペーンをかけはしのメンバーで盛り上げています。どのようなイベントや記念品を用意し、どのような声かけすれば皆さんが前向きに協力していただけるのかと考えるのも活動の楽しさのひとつです。

同世代の人に献血を勧めるコメント

10代～20代の若年層による献血協力者数は年々減少しています。このまま減少が続く、現在、定期的に献血している人が70歳を迎えたときどうなるでしょう。

献血は思ったほど痛くも、怖くもなかったという話をよく耳にします。

今、献血への第一歩を踏み出してみませんか？



献血はどんなふうにするのかな？



受付



問診・血圧測定



事前検査

所要時間は全血献血で約30～40分。成分献血は60～90分程度かかるよ。



献血カードをゲット！



採血

献血ができる人はどんな人？

項目	成分献血		全血献血	
	血漿成分献血	血小板成分献血	200mL献血	400mL献血
年齢	18歳～69歳※	男性18歳～69歳※ 女性18歳～54歳	16歳～69歳※	男性17歳～69歳※ 女性18歳～69歳※
体重	男性45kg以上、女性40kg以上			男女とも50kg以上

※ 65歳から69歳までの方は、60～64歳までに献血の経験がある方に限られます。

献血できる場所はここ！

※ 年末年始については、おいでいただく前にお問い合わせください。

栃木県赤十字血液センター

宇都宮市今宮 4-6-33 ☎ 028-659-0111



受付日 毎日（年末年始の特定日を除く）

受付時間 成分献血 9:00～11:00 13:00～15:30
400mL・200mL献血 9:00～12:00 13:00～16:30

うつのみや大通り献血ルーム

宇都宮市大通り 2-1-5 明治安田生命ビル1階 ☎ 028-632-1131



※ 1 3ナンバー及び車高160cm以上の車は駐車できません。

受付日 毎日（年末年始の特定日を除く）

受付時間 成分献血 9:30～12:00 14:00～16:30
400mL・200mL献血 9:30～13:00 14:00～17:30

栃木県赤十字血液センターやうつのみや大通り献血ルームでは、無料のドリンクや雑誌などを用意しています。

採血中もテレビやマンガを見ながらゆったり献血できるよ！



県内各地に、献血バスもお伺いしています。
実施予定は、栃木県赤十字血液センターホームページへ！



栃木県 献血

検索

<https://www.bs.jrc.or.jp/kts/tochigi>

